

みんなの県政

46/1
No. 25
富山



雪を克服する

道路の無雪化、それは私たちの願いです。除雪機械だけに頼らず、積もる前に降ったらずぐ消える方法はないだろうか。電熱を利用して無雪化を図る「ロードヒーティング」がこれを実用化してくれました。



富山市中町電車通りで



明るく楽しい年に

富山県知事

中田幸吉

県民のみなさま、新年あけましておめでとうございます。

昨年は、県政につきましても県民のみなさんに大変ご協力をいただき、心からお礼申しあげます。

さて、本年は私にとりまして、知事二年目でございますが、ことし最も力を入れたいと思っておりますのは、「社会福祉」と「こどもの教育」についてであります。

また、ことしの新しい、明るい話題は、立山ルートの開放であります。国際観光ルートとしていよいよ

脚光を浴びることでしょう。わたくしたちは祖先から受け継いだ、このすばらしい自然を守っていかねばなりません。

さて、昨年来の公害問題につきまして、ことしは、県民のみなさんといっしょになって取り組んでいきたいと思っております。

どうかみなさんの県政のため、心からなるご協力をお願いします。と同時に、ことしはみなさまにとって明るく楽しい年でありますよう、心からお祈りいたします。

みんなの県政 No.25 もくじ

△グラビア	
雪を克服する	3
△最近の県政から	4
十二月定例県議会ひらく	
県消費者大会ひらく	
県道堀岡―小杉線切断	
△新春座談会	
伸びゆく富山県のビジョン	6
△高校への進路	
本人の希望と適性を考えて	9
△県庁の機構紹介	
農業水産部	9
△グラビア	
「青年の船」で海外をみてこよう	10
△「質問に答えて」	
六五歳前でも年金がもらえるか	
そ菜の栽培について	
△富山県の獣	
「越の犬」	13
植木忠夫	
かしこい消費者育成へ	14
ここまでできた人手不足	15
△グラビア	
木材の有効利用めざす	
木材試験場	16
△富山県の自然	
呉羽山の五百羅漢	18
△越中史夜話	
お正月と天神様	19
橋本芳雄	

(表紙説明)

大漁めざして

富山湾に大漁旗がはためく。希望に満ちたにぎやかな漁船団の船出である。

北洋へ向うこれらの船は、富山県の息吹きを彼の地に伝え、大きな幸をあげるのだ。



▲ 協定書に調印する左から中田知事、内藤新湊市長、橋川富山新港対策堀岡振興会長（うしろ姿）

最近の
県政から

十二月定例県議会ひらく

十二月定例県議会は、十二月十二日招集され、一般会計予算二十三億一八七万一千円を補正。県立総合衛生学院条例の制定、職員給与条例改正など二五案件を原案どおり可決、承認して、十九日閉会した。
この議会では、公害対策、北回新幹線、

の説明をする中田知事

山岳遭難、桂台―美女平一般自動車道、県青年の船、中小企業対策などについて、熱のこもる質疑応答がされました。
これで本年度の一般会計予算額は、七三三億二、五二三万五千円となりました。

▼ 提案理由



▲ ……かしこい消費者になるために……とあいさつする竹島出納長

県消費者大会ひらく

すべての消費者がかしこくなり、合理的で豊かな消費生活を実現しようと、富山県消費者大会が、十二月八日富山市の電気ビル、第一生命ビルの両会場で、約二〇〇人が参加して開かれました。
午前中は、四分科会に分かれ、物価とくらし、消費者行政の積極的な推進、消費者の自主活動、生活設計について活発な意見がかわされました。
午後は、大会にうつり、消費者物価の引き下げなどを決議して、今後より一層、考える消費者、かしこい消費者をめざすことにしました。



県道堀岡―小杉線切断
富山新港の東水路建設

富山新港東水路建設に伴う県道堀岡―小杉線の切断問題は、地元住民の反対で難航していましたが、十一月二十日交渉がまとまり、県庁知事室で中田知事、内藤新湊市長、橋川富山新港対策堀岡振興会長の三者が協定書に調印しました。
新港東水路は、泊地と東貯木場を結ぶもので、新湊市片口川尻地内から県道堀岡―小杉線を横切って東へ市三五、深さ一〇、長さ一、七〇〇にわたって掘り込まれます。
同地区には、アルミと並んで基幹産業である木材コンビナートが立地するだけに、重要な水路です。



ビジョン ゆく富山県

伸び

富山県知事	中田幸吉
滑川市連合青年団長	神保光男
勤労青少年ホームリーダー	田尻光子
会 (富大経済学部助教授)	吉原節夫

(敬称略・順不同)

私の願いは僕の希望はと、初春を迎えて若い男女は、中田知事を囲み大いにハッスル。以下吉原先生の司会で繰る新春放談。

吉原 おめでとうございます。
(一同)
「一年の計は元旦にあり」といいますが、知事さんいかがですか。

知事 昨年の正月はちょうど選挙の直前で、年末だか年始だかわからないうちにすぎましたが、ことしも、年暮れに国の予算成立をめぐり、忙しい思いをしました。やっと体の余裕ができたホッとしているところです。一年の設計もこれからじっくり考えてみたいと思っています。

吉原 ではレディ・ファーストということで、まず田尻さんはいかがですか。



とと高めを教養田尻さん

田尻 これからの日本は、私たち青年が活躍する時代だと思います。

国際的な社会人に

神保 ボクはきょうからのおトソ気分がまだぬけないのですが……。(一同笑い)きのう賀状にまじってアメリカから手紙がきたんです。ボクは、一昨年少年派遣団の一員としてアメリカへ行ってきたんですが、そのとき民泊とか、青年の交流会とかで知りあった友達が、この八月にボイスカウト世界大会に参加するために日本にくるという内容のものです。

若さを発揮して 大いにハッスル

吉原 国際的な社会人として、巾広い知識とか、教養を高めた。とくにことは、外国生活を体験して、外からみた日本ってどんなものか味わってみて。また外国の青年の生き方を学んでみたいと思います。

仕上げる年に

吉原 年の初めからさいきょうがよいですね。
私の場合なんかチヨット現実的になるんです。読みかけていた本や、やりかけの仕事を、ぜひことはやり遂げ前進のキツカケにしたい。きょうのタイト



二階段の現実に中田知事

「銀座で夕食」も可能に

知事 いま、富山から東京に行くのに、特急でも、およそ六時間半くらいかかり、福井、愛知は東京へ新幹線で二時間。石川でも新幹線経由でゆけば四時間半くらい。長野も近いし、結局、中部圏の中で富山が一番辺地だといえます。そこで、ラフなプランですが、東海道新幹線は東京-大阪間三時間十分。北回り新幹線の場合は三時間二十八分、富山を通過して東京と大阪を結ぼうというものです。富

発展のカギ握る北回り新幹線

山から東京へは一時間半、大阪へは二時間にちょっと切れる見込みです。そうなりますと、富山県は東京の郊外といっては語弊があるでしょうが、「ちよつと今晚銀座へいってメシ食おうじゃないか」というようなことにもなります。県としては、いまのところなんとか早く実現したいと働きかけています。どうやら、中央のほうでも実現がほかたまりつつある段階です。

吉原 そういうふうになりますと、土曜の午後からでも東京へゆくとか、大阪からくるとか

田尻 早くそうしていただきたいわ。北回り新幹線ってすごく、役割の大きな鉄道ですわね。

新空港の実現

知事 いまの飛行場は、ご案内のとおり神通川の中洲にあるので、有視界飛行になります。これからの着陸は自動操縦という形になってきますので、いろいろ空港としての土地の条件がでてまいります。雨や霧の中でも離着陸できる条件が一つ。もう一つは将来を考えると、セブン・ツー・セブン程度の中型ジェット機が離着陸できるようなものにしてさらに、希望がかなえられるなら、国際空港とはいいたませんが、国際のメインルートに接続できるようなものをつくりたいと思います。

日本の富山から 「富山の日本」へ

神保 そうしますと国際的な会議とか、行事が富山へ誘致できて大変すばらしいですね。日本の富山でなく「富山の日本」といって、何かスケールの大きい夢が期待できるんじゃないですか。吉原 富山県が国際的になりますと、受入れ体制ということも考えられる訳ですが、神保君なんか外国へ行ってこられて、どう感じましたか。

儀礼的でなく客を 暖かく迎えたい

神保 アメリカへ行って、すごく感心したのは、家庭のマナーですね、お客さんを迎える入れる態度。日本人も儀礼的でなく、暖かみのあるものを身につければと思います。



とと使命のみんな神保さん

自然保護の徹底を

神保 ボクたち青年団は、毎年夏、六・七〇人で立山美化奉仕に登るのですが、大変成果が挙っています。これは私たち青年のみの問題ではなく、富山に住む人間として立山の自然保護は、みんなの使命であると思います。知事さん、自然保護の徹底を強くお願いします。

国際観光地「立山ルート」の誕生

吉原 国際的な話がでたところですが、今年立山アルペンルートも開通しますが、いつ頃からいけるわけですか。知事 工事は昨年の十一月に完



左から、吉原さん、中田知事、田尻さん、神保さん

農業水産部

私たちの生活に欠くことのできない食料を、豊富に安定的に供給し、本県全世帯の3分の1を占める農家と漁家の経済向上のための諸施策を、担当しています。

部は、農政、農業経済、農産普及、園芸特産、畜産、水産の6課で構成され、それぞれ次のように仕事を分担しています。

農政課……農業振興についての各種計画の企画と調整など、農業政策の基本的事項を扱っています。農業振興地域制度、農業構造改善事業、農業協同組合や農事組合法人、農業者年金、農業調停、農地転用、小作料などの仕事が主なものです。

農業経済課……農業金融や農産物の流通など、農業の経済活動面を担当し、農業近代化資金などの金融制度、卸売市場など生鮮食料品の流通機構の整備、米の集荷と販路の拡張、農業共済制度などがその内容です。

農産普及課……農業技術や農家生活の改善向上、農業生産性の向上など、主として農業技術面を担当しており、種子、気象、農薬、公害による農作物の被害などの対策、肥料や飼料の検査取締、開拓営農指導、後継者対策などが含まれます。

園芸特産課……野菜、花き球根、果樹、養蚕、わら工品など、米以外の作物の生産と販売対策、価格安定対策を担当しています。

畜産課……畜産に関係する生産と販売価格安定対策などを担当しています。獣医修学資金、養蜂、学校給食牛乳などもこの課で扱います。

水産課……漁業や魚族保護、水産加工あるいは漁港、漁業金融、水産業協同組合関係など、水産に関係するいっさいの仕事を担当しています。

なお、農業水産部の出先機関には、農業、畜産、水産、蚕業の各試験場、農業改良普及所、病害虫防除所、家畜保健衛生所、農業講習所、農山漁家生活近代化センターなどがあり、本課と一体となって活動しています。



新春放談
費用は相当かかりますが、市町村からも大変ご賛同いただいておりますので、個人負担

富山新港から「県青年の船」出航

韓国、台湾、香港へ

一〇〇名派遣

知事 若い方々に希望をもっていただくということ、ここ二、三年学生騒動などが続き、若い人のエネルギーが低迷している、はげ口がないのではないかと、見方がわれわれの間でありました。やはりスポーツとか、海外へいってむこうから日本を見つめてもらい、むこうの人達と話し合うことによって日本の地位とか、物の考え方の違いというものを理解してもらおうということ、昨年知事に就任した時、申し上げたものです。準備もできましたので、ここの九月末から十二日間にわたって富山新港からチャーター船を出します。とりあえず男女約一〇〇名位の青年を、韓国へ、それから飛行機で台湾と香港、最後に船で神戸が横浜へ上ってもらうというプランです。

毎年続けたい

田尻 青年の船は、これからは続けていかれるわけですか。

知事 できれば毎年やりたい。訪問国とか日数については、例えばアメリカ、イギリスなども考えられますが、遠いと船では困難です。飛行機になりますと、乗っている時間が少ないのでみんながいっしょに生活する時間が少ない。話し合いの場を外国に求めることに意義があるのですから、あまり遠い国々はどうかなと思っています。むしろ、いろんなケースも考えてみるつもりです。神保 ポクたちは、青友会とい

うものを持っておりませんが、これは海外へ行ってきた者たちの集まりです。それで今回の「青年の船」にタイアップして、スライドなど撮ってきたものとか、お土産を今月二十日から三日間県民会館で広報展を開く予定にしておりますので、ぜひご覧下さい。

「大自然公園」の建設

吉原 希望の森というものを考えております。



大きな芝生地を……と 吉原 さん

泥ンコになって汗流す施設こそ必要

吉原 最近屋内の施設が増えたせいか、泥ンコになって汗を流したり、ハダカになって飛び歩るということ、少なくありません。そういう点では、希望の森もひじょうに良い構想です。わたしはそう大がかりのものでなくても奥地の山で野球場二つ分ほどの芝生地を作ってもらいたい。これは山地の開発にもつながると思います。

神保 ポクはよく子供たちを連れてキャンプにいけます。自然の中でテント生活をしたり、肌で実際の地面に接すると子供たちはすごく喜ぶんです。ぜひ大きなキャンプ場もその中におり込んでいただくとうれしいですね。

吉原 最後に知事さん、ことしの県政についてのご抱負をお聞かせ下さい。

「人間中心」に

知事 昨年から公害問題をかたづけたい。これは、県だけがやかましくいても防除できるものじゃないので、県民の方々と一丸となってやらねばなりません。これは恐らく一年続きましよう。つぎは、社会福祉という問題です。老人問題からそのほかいろんなことを含めて、施設を準備する。そして環境をよくしてゆくということ。環境をよくするとはいえ、たとえば、希望の森のように緑地の造成も入ります。それと交通安全。これも大変なことです。人間を中心にしていろんな施設と施策を拡充して進めてゆきたいと思っています。

吉原 みなさんきょうは、いろいろと楽しいお話をどうもありがとうございました。 (文責編集者)

ことしの県立高校の学科定数が決定され、三学期を迎えて高校入試も近づいてきますと、中学校三年生のお子さんをお持ちの父兄の方々には、進路をめぐってあれこれと心配のことでしょう。

卒業期を迎えて父兄とお子さんなどが、志望する学校、学科の選定など進路の問題を相談されるにあたって、とくに、次のことがらについて考えてみましょう。

① 子どもの現在の学業成績は、志望する学校、学科の選定など進路の問題を相談されるにあたって、とくに、次のことがらについて考えてみましょう。

本人の希望と適性を考えて 高校への進路

ややもすると学業成績だけを重視し、いわゆる有名校を目指すということになりがちですが、高校入学後適性が合わず意欲を失って、脱落していく者がかなりおられます。中学校では、三カ年を通して

③ 子どもさんの将来の希望を実現させるコースは、本人の意欲と努力次第によつては、無限に広がるものであるという励ましをしましょう。 本人が志望する一つのコースに適性があまりないからといって、他のすべてのコースに適性がないということではありません。

あなたのコーナー
ご質問に答えて

聞こう知ろう確かめよう

こんな場合どうしたら？ これはなんとかならないか……。このページは、みなさんのご質問にお答えする「あなたのコーナー」です。どなたもお気軽にお問い合せ下さい。あて先は 富山市新総曲輪一の九 富山県庁県民課

六五歳前でも年金が支給されるか

問 私は明治四十二年五月生れ(六一)の者ですが、国民年金に加入し、毎月保険料を掛けてきた。ことし三月で、十年間の保険料を掛けおわる。話によると、六五歳前でも請求すれば老齢年金が支給されると聞いたが、どれだけ支給されるのか、また、請求の方法についておきかせ願いたい。

答 国民年金では、老齢年金を受けるのに必要な期間が、原則として二十五年に達してはいますが、制度発足時、高齢の人には、この掛金期間が年齢に応じて最

低十年までに短縮されています。

従って、あなたの場合は、掛金期間が十年でよいことになり、ことし三月で掛金をおわることとなります。

ところで、老齢年金の掛金期間のすんだ人は、六五歳から年金の支給を受けることになりませんが、特に希望される場合は、六五歳前でも年金が受けられるしくみになっています。これが年金の繰り上げ請求の制度です。

この繰り上げ請求をしますと、通常、六五歳から受ける老齢年金の額よりも減額された額で支給され、その額は、六五歳になっても増額されません。減額される率は、請求時の年齢によって、それぞれ異なります。あなたの場合でいいますと、掛金のおわることし三月をすぎ

ますと、繰り上げ請求ができることになり、たとえば、六月にこの請求をしたとしますと、六五歳からの年金額は、月五、〇〇〇円ですが、つぎの表でみるように、六二歳から受ける年金額は月三、六〇〇円となり、生涯この額を受けることとなります。

年齢	減額年金額	減額率
卒歳から受ける人	(月)八、〇〇〇円	〇・四三
六十一歳から受ける人	(月)七、〇〇〇円	〇・四三
六十歳から受ける人	(月)六、〇〇〇円	〇・三三
五十九歳から受ける人	(月)五、〇〇〇円	〇・三三
五十八歳から受ける人	(月)四、〇〇〇円	〇・二六
五十七歳から受ける人	(月)三、〇〇〇円	〇・二〇
五十六歳から受ける人	(月)二、〇〇〇円	〇・一四
五十五歳から受ける人	(月)一、〇〇〇円	〇・〇七

請求の手続きに必要な書類は、老齢年金裁定請求書と国民年金手帳ですが、このほかに、印鑑が必要ですので、市町村役場の年金係に申し出て手続きをとってください。

そ菜の栽培について

問 そ菜の栽培については、価格の不安定、地域分担制などの問題がある。農家が安心して作付けできる方法を研究され、指導されたい。

答 過去十年間の野菜の生産の状況をみてみますと、作付面積が、わずかに減少しております。

しかし、最近ほとんど市場を通すようになったため、市場出荷量は、年間約三、〇〇〇トン位づつ増加しています。一方、県内の需要は十年前の約二倍に増えています。

夏、秋の野菜は、余剰分があり県外に出荷しておりますが、冬期は県外から移入しなければなりません。

そこで、価格変動が激しい原因ですが、天候に支配されやすく、作付け増減が大きいことが、需給をアンバランスにしているのです。

文化財はみんなのもの
— 火災から守りましょう —

独自でも、関係機関、市町村とも協議を進め、具体的な対策を検討しています。

野菜作りは、とくに多くの労力が必要とします。栽培技術とともに、市場性のあるよい品質の新鮮な野菜が要求されます。

地区に適した大量生産の可能なものは、組織化して生産出荷計画をたてねばなりません。あなたの地域を担当している農業改良普及員とよく相談して、栽培計画をたてられるようおすすめます。

野菜の転換作については、県

越の犬



植木 忠次 (富山県文化センター 富山大学)

桜井末次氏とその愛犬「丸号」

越の犬(コシノイヌ)は、北陸に育った原種の代表的な中型日本犬である。もと「立山犬」「白山犬」などともいわれたが、越の国の祖先たちによって飼育されてきたもので、高岡市の飛見丈繁医師によって、昭和九年五月「越の犬」と呼称され、国の天然記念物として指定されている。北アルプスの峻峻雄大な自然環境のもとで、長いあいだ風雪と戦い、粗食に耐えてきて、質実剛健の越中魂そのままを受けつぎ、しかもその純情さは忠犬ハチ公を思わせる名

犬である。しかし風格が気迫に乏しく、一見無愛想な素朴さがある。

体高は五〇〜六五センチ、体重は一〜二五キログラム程度、耳は比較的小さく三角形で、やや前傾してピンと立っている。目は平靜時は、やや三角形で目じりがつりあがり、額は広く、頬は発達し、頸部は太くたくましい。後足の大腿部と中腿がよく発達し、力強く踏ん張る感じ。尾は適度に太く、尾根から背の方へ前傾して腰の左右に巻き尾、または差し尾。毛色は黒ゴマ、赤ゴマ、およびそれらの淡色である。

昭和三十八年九月十二日に県獣として指定公示された。越前、越中、越後、つまり越の国のまん中にあたる越中がこれを代表して指定するのが当然と思う。県獣は飼育獣よりも野獣の方が正しいとするならば、食虫類のタテヤマトガリネズミあたりはどうだろうか。実に県内には「越の犬」の純系と断定されるものは、ただ一頭、城端町西下町桜井末次氏の所有される、「丸号」二三歳(メス)が現存するのみである。

この「丸号」は、昭和二十四年七月十六日に、富山県教育委員会告示第三七号に、正しく越の犬の純系として記録してあり、左巻き尾、毛色黒と記されている。そして桜井家には血統書が残されており、



左が「高号」と右が「鈴香」のお見合い(砂川氏宅前で、1969.12)

「かしの消費者育成へ」

消費者保護の現況



県消費生活相談室から現地へ出向いての講習会

消費生活の変せん

私たちの生活は、物資の々ない時代からある時代へと変化してきました。

昭和二十年代は物資が欠乏していましたが、とにかく生きて行くためには「着物と取り替えても、食べものを手に入れたい」また、たとえ粗悪品とわかっていても「ありがたく利用させていただく」という状態でした。

ついで昭和三十年代は、技術革新にともない「物をつくれ」の生産中心の時代に入りました。科学技術の進歩は新しい知識を提供し、新製品をつくり出し、プラスチック製品、合成繊維などが日用品、衣類に進出し、電気洗濯機、冷蔵庫など、電気製品を中心とする耐久消費財が普及しました。食生活の面でも肉類、卵乳類などの増加による栄養の向上と各種加工品が

出現しました。昭和四十年代には、物資が豊かになり、生活の高度化、合理化が行なわれるようになった反面、いろいろの問題が出てきました。

企業間の競争が激しくなり、行きすぎた広告、宣伝、表示、車やカラーテレビなど購買欲をさそわずにはおかない新製品が続々登場するものの、その大半のライフサイクルが短命であったり、モデルチェンジがひんばんに行なわれる。安全であると思っていたものが有害であるに用心していても、ときとして損失、被害をこうむらざるを得ない問題ばかりです。

現在はこうした問題の渦の中にいやおうなしに立たされているといつてよいでしょう。

これらの問題を解決するためにも、一人ひとりが「かしの消費者」になることが必要です。

国でも、「消費者保護基本法」を作り、

①食品、医薬品などに関する

消費者保護への道

消費者保護への道

基本的な知識を知ってほしいマークを紹介しましょう。

①食品、医薬品などに関する

危害の防止

- ② 計量の適正化
 - ③ 規格の適正化
 - ④ 表示の適正化
 - ⑤ 公正自由な競争の確保
- などを強力に押し進めなければならぬとしています。

業界も、「公正競争規約」を作り、不当表示について、自主規制を行なっています。

したがって、私たち消費者は、そうした法律や制度、それにもなうマークやラベルを知って買物に利用するともに、表示をつけた商品をつくるよう呼びかけ、「よい商品」をつくる生産者や販売店を守り育てていくことも必要なのです。

私たち消費者は、生産者、販売店と対立するのではなく、お互いに手を取り合っつて「よい商品」を作っていくという建前を進むことです。

品質表示で

社会的商品

基本的な知識を知ってほしいマークを紹介しましょう。

①食品、医薬品などに関する

- ① みやげ品
- ② 人造真珠
- ③ マーガリン
- ④ 合成レモン
- ⑤ 食用のり
- ⑥ 防虫剤
- ⑦ 牛乳
- ⑧ かん詰め
- ⑨ ゆでめん
- ⑩ 粉わさび
- ⑪ 削りぶし
- ⑫ 食酢
- ⑬ はちみつ

関が検査し保証したマーク

○：子供服の品質が一定水準以上の製品につけられるマーク

家庭用品品質表示は、繊維製品、合成樹脂加工品、電気機械器具、雑貨工業品などについて、成分、品質、機能、使用方法、保存方法を表示。

▽：家庭電器用品の安全性を保証するマーク

⊕：ビタミンやミネラルなどの栄養素を強化したマーク

□：計量器の検査に合格したマーク

「見る」「聞く」ことから「ためず」「考える」といった、消費者のみなさんが本当に望んでおいでになるテスト機能を備えた、近代的なセンターの開設も間近です。(県民課)

県が昨年九月にオープンした消費生活相談室は、すべての県民が「かしの消費者」になるようにという願いをこめて設けられたものです。ことしは、さらにこの相談室を発展させた「消費生活センター」を発足させることにしています。

テスト機能備えたセンターへ

ここまできた 人手不足



県立高等技術学校では技能者の育成につとめている

高度経済成長に伴って、産業界では、人手不足が叫ばれています。とくに若年労働者や技能労働者の不足が最近いっそう強まってきました。

さらに深刻化

このような人手不足によって、企業では、求人奔走しています。その対象は若年者に片寄っているため、中高年令者は、いぜんとして就職が困難な実情にあります。

本県の職業安定所の窓口からみた状況では、昨年三月新規学卒者(中学、高校)の就職希望者一人に対し、求人数は六人になっていました。一方、五〇歳以上の方は、就職希望者一人に対して求職者は四人となっています。

人手不足はこんご、新規学卒者の減少、労働力人口の高令化などのために、中高年令者の就職難などの問題をかかえながら、若年労働力を中心に、さらに強まってくるものと見込まれています。

こんごの対策

一般に人手不足といわれていますが、労働力は絶対的に不足しているのではなく、長い間の労働力過剰から労働力不足へと急速に移行したため、産業界をはじめ社会全体がこれに適応できず、遅れていることに原因があるといえるようです。

したがって、こんごの労働力不足対策として、県では次のような対策を考えています。

④労働力供給源の切換え：人手不足といっても、ほとんどの企業で足りないのは、新規学卒者を中心とする若年者であり、こんごは若年者が減る一方なので、広く人材を各層に求める必要があります。

その人材として考えられるのは、中高年令者、離農職者、希望者および中高年婦人です。

国、県では、中高年対策として、職業転換援助措置、転職訓練、職場適応訓練、人材コンサルタント室、農村人材銀行、高令者無料職業紹介所などによるキメの細かい職業紹介を行なっています。

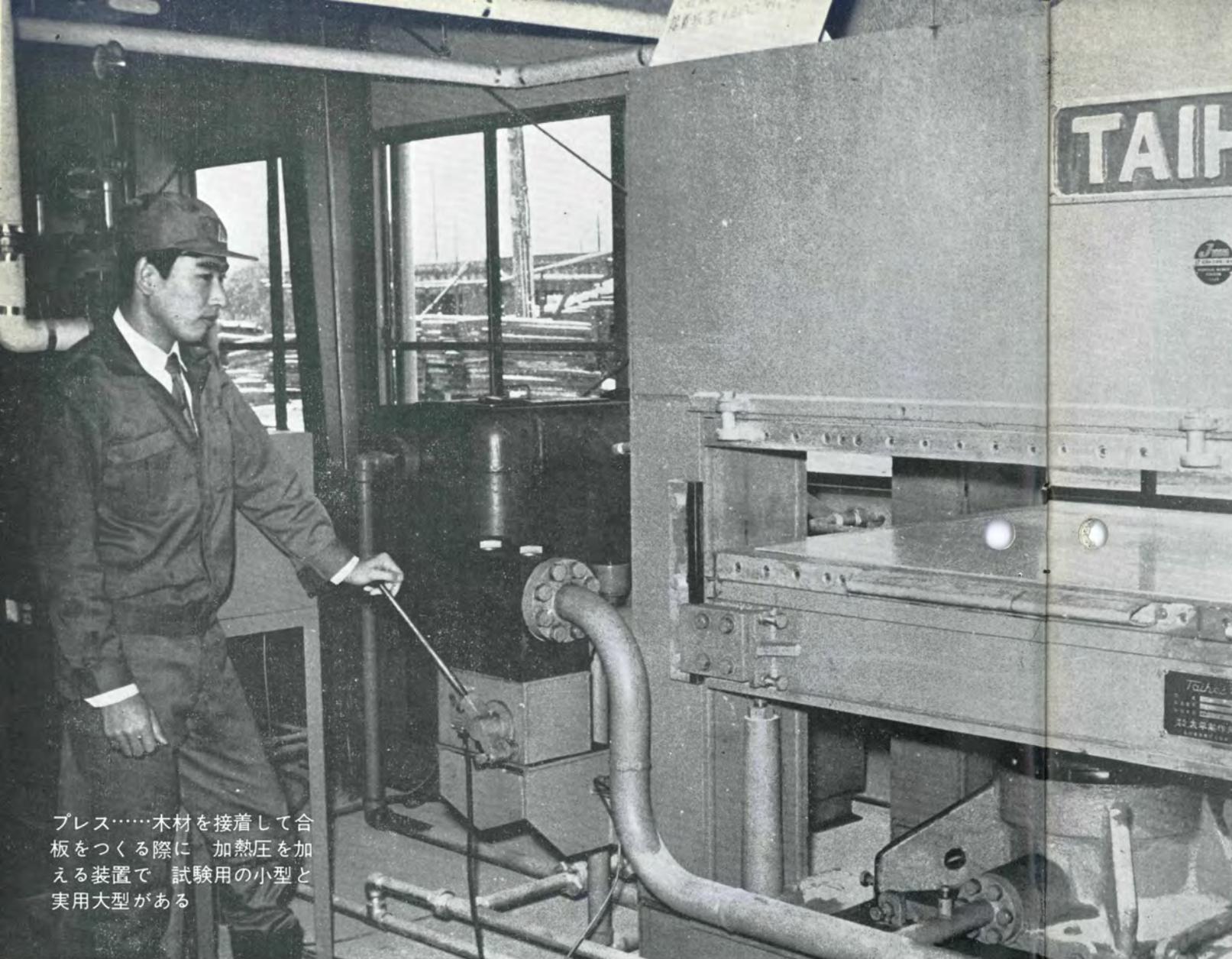
こんごも、さらにこれを充実して、雇用の勧奨を積極的に進めていくことにしています。

若年労働力の確保

◆若年労働力の確保：県内新規学卒者の県内就職促進と県外(北海道、九州、沖縄など)から新規学卒者を積極的に導入して、若年労働力の確保を図る計画です。

労働力節約態勢の推進

◆労働力節約態勢の推進：労働力過剰時代の惰性で、人のむだ使いや過剰と思われるサービスが行なわれていますが、企業の雇用管理の近代化を勧奨し、労働力節約態勢の確立を図る予定です。(職業安定課)

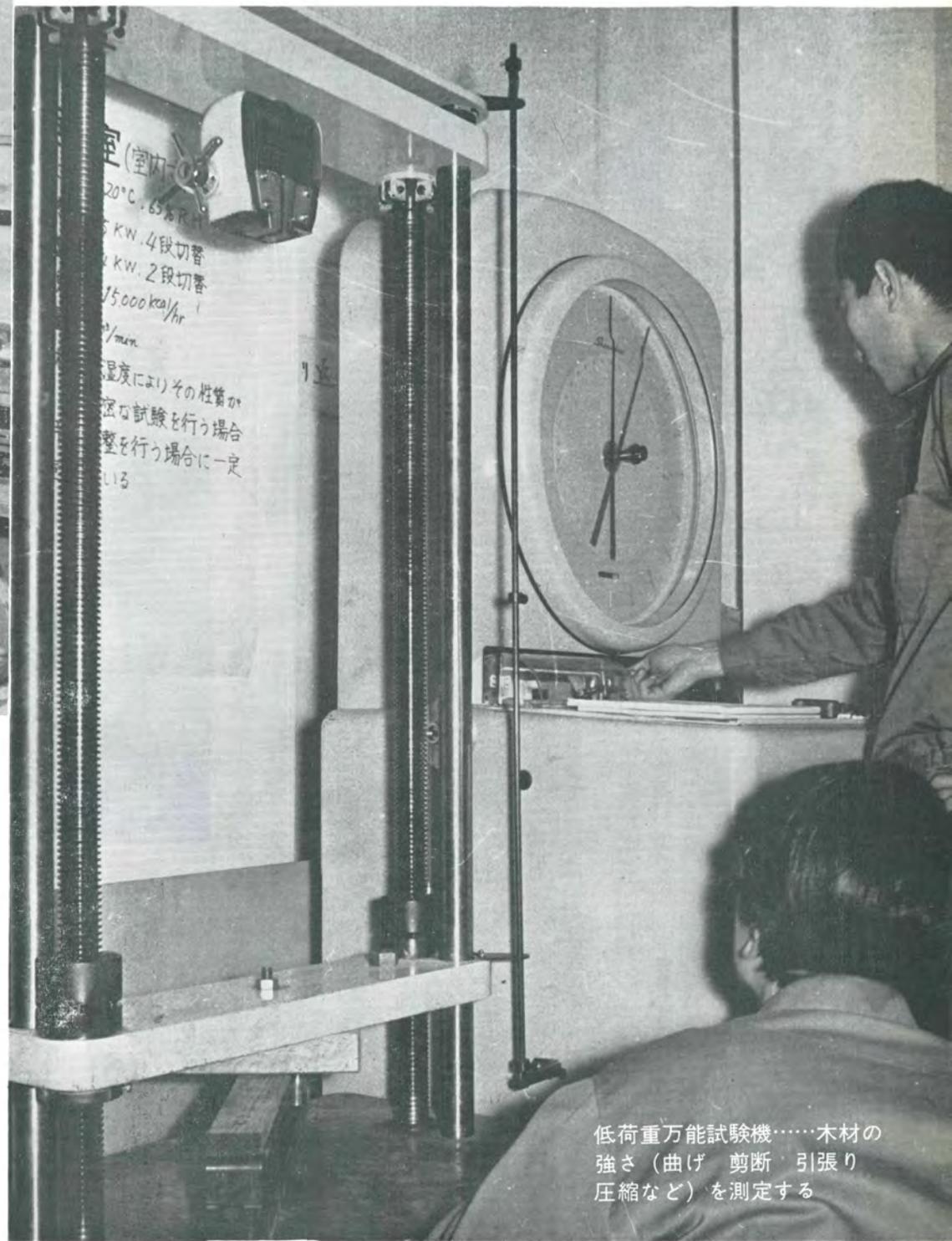


プレス……木材を接着して合板をつくる際に 加熱圧を加える装置で 試験用の小型と 実用大型がある

木材の有効利用めざす

富山県木材試験場
(小杉町黒河新)

カメラルポ



低荷重万能試験機……木材の強さ(曲げ 剪断 引張り 圧縮など)を測定する



試験場本館

とスピード化に伴って、新建材の開発が進み、住宅の内、外装、柱にいたるまで、外材を主とした複合材が利用されるようになった。

富山新港の完成に伴って、いままでも、いっそう外材の輸入が活発になり、木材コンビナートが形成されつつある。

しかし、「外材は耐久性に欠ける」などとあまり歓迎されない向もあるため、県ではこれらに対処するため、全国でも珍らしい木材試験場を四十五年四月に開設、外材を主に複合集成の方法と性質を研究して、有効利用をはかるため試験研究を行なっている。

また、現地へ出向いて技術指導を行ない、中小木材業者の技術向上につとめ、技術普及センターとしての役割ももちたい考えである。

試験されたデータは、季報「木材と技術」を通じて関係者に配布している。

現在、県内には緑が少なく、木材の全需要に対して県内材は、わずかに〇割にすぎないという。県外から五割を移入するほか、すべて外国材に頼っている現状である。

このような背景にあって、建築技術の発達



日曜日の朝はテレビで県政を

テレビ みんなの県政

県政の広報事項を、対談およびフィルム構成で放送します。

(毎週日曜日)

北日本放送 (7:35~7:50)

富山テレビ (7:30~7:45)

1月3日 知事にきく

1月31日

10日 国民年金に加入しよう

高校入学への進路指導

17日 「富山県青年の船」の構想

24日 こうすればなくなる交通事故